

# カリキュラム

機構施設名：奈良職業能力開発促進センター  
 実施機関名：株式会社パワートレイン

<b>B.組織マネジメント</b>	<b>組織力強化</b>	<b>現場社員のための組織行動力向上</b>
-------------------	--------------	------------------------

<b>コースのねらい</b>	企業の仕組みや、業界の背景について理解を深め、一般社員のうちから経営者の視点を理解し、上司の補佐や後輩の育成を行い、生産性向上のためのビジネス感覚を養うことにより、自ら主体的に社内の問題発見・業務改善を現場から発信するために必要な知識、技能を習得する。
----------------	--

	「基本項目」	「主な内容」	訓練時間 (H)
<b>講義内容</b>	1 企業組織と生産活動	(1) 企業経営の仕組み 変わり続ける時代の経営について、経営の目的、イノベーションの必要性や社会の一員としての企業の在り方等について、現場の社員でも他人事ではなく、自分のこととして捉えることの重要性について解説します。	1.0
		(2) 企業活動の目的と目標 何のために企業は存在しているのか？という企業の存在理念、企業の生産性を客観的に測定するための財務諸表、企業活動の目標達成のためのPDCAサイクル等、企業活動の基本となる概念について解説します。特に企業の目標設定とPDCAサイクルについて参加者同士のディスカッションも交えて学習します。	1.0
	2 状況変化に対応する現場力	(1) 現場力を高めるための要素とビジョン創造【演習あり】 強い現場とはどのような現場なのかを、組織力の側面、オペレーションの側面から解説します。また、グループワークにて、自社の現場がどのような状態であることが望ましいのか、という組織のビジョンを全員で創造し、共有します。	0.5
		(2) 業務の構造と問題発見手法 全員で創造した組織ビジョンをゴールとした場合、現在の現場での問題が何かを把握する方法について学習します。業務の全体像から詳細までを客観的に捉えるためには、その構造を知る必要があります。業務で何よりも重要なOIP(アウトプット・インプット・プロセス)の重要性について解説します。その上で、業務の中に潜む問題を発見し改善するための4つの原則(ECRSの原則)について解説します。	1.0
		(3) ビジョン達成のための目標設定【演習あり】 創造したビジョンから、何に取り組んだらビジョンが達成できるかをグループワークにて検討します。その結果を踏まえ、短期的な目標、1年以内に達成させる目標を設定します。	0.5
		(4) 目標達成のための方法(戦略・戦術)検討【演習あり】 設定した短期目標を達成するために、何をどのようにしたら達成できるのか？についてグループワークで検討します。社員のスキルアップや現場の業務フローの効率化、システムを活用した効率化など、思い込みの枠を取り払って実現方法のブレインストーミングを行います。	0.5
		(5) 目標達成の妨げになる問題点の洗い出し【演習あり】 目標達成の妨げになる現場での問題点をグループワークにて洗い出します。ビジョン→目標→達成のための方法(戦略・戦術)→達成の妨げになる問題点の洗い出し、という構造になります。ここで洗い出す問題点については大小を問わず、現場で発生している問題を全て明らかにすることが重要です。	0.5
	3 フォロワーシップと組織行動力	(1) フォロワーシップと組織行動力 フォロワーシップとは精力的なリーダーを支え、そのバランスを保つ役割を持つ現場のメンバーのことです。社長と現場のリーダー、現場のメンバーそれぞれの役割と責任について解説します。	1.0
	<b>合計時間</b>		<b>6.0</b>

<b>カリキュラム作成のポイント</b>
現場力とフォロワーシップの観点から解説を行います。組織力を強化するための組織ビジョンを策定し、戦略・戦術を作り上げる演習(自社を題材としたケーススタディ)を行います。 現場のメンバーも気軽に参加できるよう、専門用語をできるだけわかりやすく表現します。